

中河内支部総会

平成19年6月8日(金)八尾プリズムホールにて府養研中河内支部総会が行われました。80人あまりの参加で会場はほぼ一杯となりました。平成18年度の事業報告、会計報告、会計監査報告、平成19年度の事業計画、予算承認と議事は滞りなく進行しました。今年度も指導技術研修会が夏に、実践交流会が2本予定されています。中学校屋内スポーツ大会は柏原市において、11月7日(水)に行われます。すべての議事終了後、記念講演として、大阪府教育委員会障害教育課の主任指導主事、矢木克典先生から「各学校における特別支援教育の具体的支援について」のお話をいただきました。幅広く充実した内容で、時間ギリギリまで実践的な話をしていただき、質疑応答の時間が無くなってしまいました。次回からは、質疑時間を確実にとれるように時間設定をいたします。

中河内支部 実践交流会の報告

11月26日(月)第6限(2:20~3:10)授業、その後(3:20~5:00)交流会という日程で、八尾市立亀井中学校 青空学級で岩倉勉先生の指導のもとに行われました。テーマは、「特別支援学級における数学(算数)の学習」~数学(算数)の能力に違いのある生徒達への指導について~というものでした。

2年男子1名、3年男子2名の能力に違いのある生徒に、それぞれ「整数の四則計算と少数の足し算、引き算」「1次関数のグラフと値の変化」「三角形と比」という内容の違うプリントを使っての学習でした。目標は「現在用いることのできる手段を使って、自分の力で解くことができる。」というもので、指導者の助言のもと、それぞれ自分のプリントを解いていました。

交流会では、参加された先生方から、ADHDなどでじっと着席させることがむずかしい生徒に、遊びを取り入れてグラフの読み方や計算ができるようにしていった取り組みや、算数の授業で指導と問題練習を分けておこなうやり方などの意見が出ていました。

